

第2回 美濃桃山陶の聖地 かに窯めぐり

美濃桃山陶の聖地で、桃山時代の陶工たちの息遣いや足跡を感じながら作陶する現代の陶芸家の皆さん。何を目指し、作陶に励んでいるのか。窯めぐりを通して、感じてみませんか。



窯に薪を入れる参加者

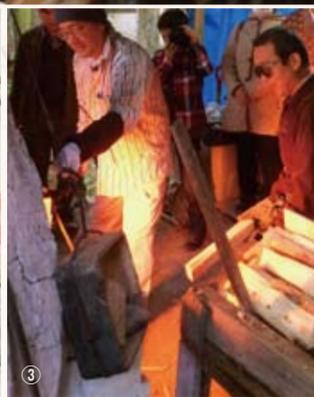
かに窯めぐりは、市内で活躍している窯元を探访する企画です。昨年度から始まり、今回が2回目の開催となります。

初回の企画では、陶芸家から美濃焼の歴史や技法の話、作陶実演など専門的で貴重な体験を提供していただきました。

参加者からは「手回しろくろで制作している登や

工房の竹まいに、いにしへの職人の息遣いが伝わってくるように感じた。臨場感あふれる珠玉の時間に感謝」など好評でした。

今回のかに窯めぐりでは、作陶工房での絵付け体験や尺皿づくり、織部の造形へのこだわりなど、日頃出会えない時間を楽しんでいただけます。陶芸家ならではの興味深いエピソードにあふれています。



【昨年度の窯めぐりの様子】

- ①美濃焼の歴史を語る瀧口喜兵衛さん
- ②技法を解説しながらろくろを引く加藤弥右衛門さん
- ③1,200度近くの高温の窯に、薪入れを指導する樋口雅之さん
- ④多くの芸術作品を鑑賞することで感性が研ぎ澄まされるなどの経験を語る吉田喜彦さん



申込方法 希望する期日(次ページを参照)、氏名(3人まで)、住所、電話番号を明記し、各回につき1枚のはがきで申し込む

送付先 〒509-0292 広見一丁目1番地

可児市役所観光交流課

申込締切 5月20日(金) 午後5時15分(消印有効)

※応募者多数の場合は、5月25日(水) 午前10時に同課で公開抽選を行います。

※当選者のみ詳細を文書で通知します。

はがき記入例

裏面	表面
・希望する期日 (代表者)	509-0292
・氏名	広見一丁目1番地
・住所	可児市役所
・電話番号	観光交流課 宛
(代表者以外)	
・氏名(2人まで)	
・住所	
・電話番号	

問合せ 観光交流課



佐藤 公一郎

6/4 (土) 午後2時~4時

内容 黄瀬戸の尺皿づくり体験など 募集人数 約5人
参加費 10,000円 集合場所 佐藤陶芸 (平貝戸47番地)

佐藤公一郎さんは、物心がつく頃から工作が大好きで、長じて焼き物づくりをなりわいとしています。美濃焼の伝統工芸士として認定されており、市内の学校で陶芸体験の講師を依頼されることもあります。

黄瀬戸や梅花皮の赤志野などの抹茶茶わんや食器類などを主に制作しています。

当日は、なかなか体験できない「黄瀬戸尺皿」づくりに挑戦できます。

「料理を盛り付けるイメージを持って参加してください」とのことです。



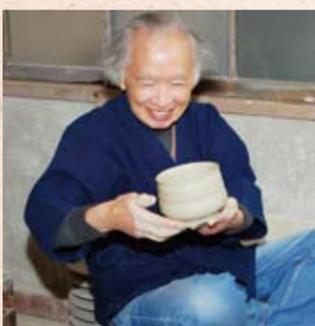
加藤 裕子



美濃大平の陶祖加藤景豊の流れをくむ、加藤弥右衛門さんとその娘裕子さん。美濃桃山陶の伝統技法をベースに、志野、黄瀬戸、織部、美濃伊賀などを手掛けています。

隣接する弥七田窯跡の説明に始まり、伝統技法の解説、絵付けと続き、最後に、風情ある茶室でお抹茶を一服いただけます。

ぜひたくな空間で、ぜひたくで楽しい時間を過ごしませんか。



ろくろで引いた茶わんを参加者に見せる加藤弥右衛門さん



青山 晃大

6/12 (日) 午後1時30分~3時30分

内容 タタラで作る織部のコーヒーカップ 募集人数 5人
参加費 5,000円 集合場所 青山さん自宅 (下恵土446番地)

青山晃大さんは、下恵土で「青窯」を構え、織部焼を作陶しています。

形状の豊かさは織部焼の特徴のひとつですが、青山さんは食器類のほか、書道具や万華鏡、酒器など、織部焼の心とも言える「遊び心」を加えて織部の世界を作り上げています。

当日は、コーヒーカップの他、ソーサーやスプーンも制作します。人気が高いデザインのコーヒーカップを普段使いの一品に加えます。

